

議会構成員名 佐藤克雄（三面川漁協）

・三面川の鮭は大丈夫？（鮭の食文化のある町の心配）

三面川の鮭は、古くは千年程前に都に献上された。特に江戸期においては藩の財政を支えた。地域では鮭に対する食文化が形成され、百を超える調理法も発達した。明治期には日本でも最初の大規模な人工増殖の施設を作り、将来に渡っての、「鮭の帰る川」としての確立を図ってきた。長い歴史を通して「地域と共にある特別な魚である」。現在でも季節になると、地域の方々のみならず県外の遠方の方々も三面川の鮭を求めてきてくれる。また、年々増加するのが観光の人々で、帰ってきた鮭の姿を見て感動しています。予定されている洋上風力発電の建設により、現在行われている

- ・漁協の安定した鮭の増殖事業の継続
- ・地域の方々の鮭に対する思い
- ・学習教材の場としての鮭漁体験学習
- ・村上市の貴重な観光資源
- ・これらに影響しない事を願うばかりである。これらの心配事の解決手段として
- ・鮭の回帰ルートの徹底した解明
- ・鮭の稚魚の北上ルート解明
- ・継続出来る増殖事業の安定化。科学的な調査により、洋上風力発電が鮭に対する影響が無い事の検証をお願いしたい。鮭が安心して帰れる海・川の環境保全とクリーンエネルギー開発の両立を全力で取り組んで頂きたい。

資料（写真）

- ・日本最初の大規模人工増殖
- ・定番の塩引き鮭
- ・沢山のお客さん（駐車場満車）
- ・行列の出来る販売所
- ・人数制限の販売所
- ・鮭の購入あれこれ
- ・幼稚園の体験学習
- ・小学生の体験学習
- ・小学生による採卵体験



・日本最初の大規模人工増殖



・定番の塩引き鮭



・沢山の皆さん（駐車場満車）



・行列の出来る販売所



資料 2



・人数制限の販売所



・鮭の購入



・鮭の購入



・幼稚園の体験学習



・小学生による採卵体験

・小学生の体験学習